

安井小学校 学校だより

第2回 学校評価特別号

令和8年3月
京都市立安井小学校
校長 志村 光司
TEL075-841-3130 fax075-811-3333
HP <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/yasui-s/>

☆令和7年度 第2回 学校評価のまとめ☆

1月に行った学校評価アンケート結果についてお知らせします。

<めざす子ども像について>

安井小学校では、「輝く安井の子の育成」を学校教育目標として教育活動を推進しています。本校の教育がめざす子ども像は「生きる力」を育む「知・徳・体」の3つで構成し、「やさしく思いやりのある子」「すすんで学習を進める子」「いきいき元気に健康な子」の育成を目指しています。また「自分から そして自分たちの力で」という副題をつけ、児童が主体的に活動する力を高めることも目標としています。

学校評価アンケート結果のうち、「友だちに仲良く、優しく接している。」「元気に安全に学校生活を送っている。」の項目では、年間を通じて、低学年・高学年ともにほとんどの割合で「できている」と答えています。また、保護者へのアンケート結果でも高い割合で「できている」と回答されています。学校生活でも一人一人の個性を理解しながら仲良く遊ぶ姿や、困っている友だちに優しく声を掛ける姿が多く見られました。また、ジャンプアップの取組で休み時間には、外でボール遊びや一輪車などをして元気に過ごす学年も増えました。このように、本校の教育が、めざす子ども像の「やさしく思いやりのある子」「いきいき元気に健康な子」の姿の実現に近づいているように思います。

	アンケート項目	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
低学年	友だちに仲良く、優しく接している。	64.2%	30.8%	5.0%	0.0%
	元気に安全に学校生活を送っている。	75.0%	21.7%	3.3%	0.0%
高学年	友だちに仲良く、優しく接している。	59.9%	37.7%	2.4%	0.0%
	元気に安全に学校生活を送っている。	66.4%	29.6%	4.0%	0.0%
保護者	子どもは、友だちや周りの人に、仲良く優しく接している。	29.8%	63.6%	6.6%	0.0%
	子どもは、元気に安全に学校生活を送っている。	53.7%	43.8%	2.5%	0.0%

「すすんで学習を進める子」の育成については、低学年・高学年共に授業内容をよく理解し、家庭学習にも前向きに取り組む姿が多く見られ、学習の土台が着実に育っています。

一方で、高学年では考えたことを言葉にすることへの不安から、発表に踏み出しにくい児童もいます。また、低学年・高学年ともに家庭での読書がやや少なく、読書習慣づくりが今後の課題として挙げられます。

今後は、互いの考えを認め合い安心して発言できる学級づくりや、発表の必然性を感じられる授業づくりを進めていきます。また、発表が苦手な児童には、ノート記述や個別の対話などを通して自信につながる支援を続けていきたいと考えています。

	アンケート項目	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
低学年	授業中は、自分から進んで学習したり、発表したりする。	36.7%	40.0%	19.2%	4.2%
	家で読書をしている。	31.7%	26.7%	20.8%	20.8%
高学年	授業中は、自分から進んで学習したり、発表したりしている。	38.9%	37.2%	19.4%	4.5%
	家で読書をしている。	26.7%	25.5%	23.1%	24.7%
保護者	子どもは、学校や家で自ら学習に取り組んでいる。	17.4%	62.8%	18.2%	1.7%



<みそあじについて> 本校では、日常生活の基本である「みじたく・そうじ・あいさつ・じかんを守る」を柱とした“みそあじ運動”に取り組んでいます。今回のアンケートでは、家庭と学校で取り組んできた内容がしっかり成果として表れました。

みじたくでは、低学年 90%・高学年 88%・保護者 87%が「できている」と回答し、身支度の習慣が着実に定着していることがわかりました。

そうじでは、低学年 78%、高学年 88%が「できている」と答えました。学年による差はありま

すが、美化委員会の呼びかけなどを通して、「自分たちの学校を自分たちで美しくする」という意識が高まりつつあります。

あいさつでは、低学年 86%、高学年 89%と高い定着が見られます。校門での元気なあいさつや、職員室での丁寧な言葉遣いが広がり、日常の習慣として根づいてきています。

時間やルールを守るでは、低学年 91%、高学年 90%が「できている」と回答し、授業前の行動はよく定着しています。一方、休み時間の過ごし方など、場面によっては改善が必要などころも見られました。

今回の結果から、多くの項目で良い定着が見られる一方、そうじやルール面は引き続き力を入れて取り組みたいと考えております。今後も、家庭と学校が協力し、子どもたちが安心して気持ちよく学校生活を送れるよう努めてまいります。

	アンケート項目	よく 出来ている	大体 出来ている	あまり 出来ていない	出来ていない
低学年	あいさつを進んでできる。	59.2%	27.5%	10.0%	3.3%
	みじたく、学校の準備ができる。	54.2%	36.7%	9.2%	0.0%
	時間やルールをまもって、こうどうできる。	59.2%	32.5%	7.5%	0.8%
高学年	あいさつを進んでできる。	53.4%	35.6%	8.9%	2.0%
	みじたく、学校の準備ができる。	46.2%	42.1%	8.9%	2.8%
	時間やルールを守って行動できる。	43.7%	46.6%	9.3%	0.4%
保護者	あいさつを進んでできる。	19.0%	57.0%	24.0%	0.0%
	みじたく、学校の準備ができる。	15.7%	71.9%	12.4%	0.0%
	時間やルールを守って行動できる。	17.4%	66.9%	14.9%	0.8%



<早寝・早起き・朝ごはんについて>

「早寝・早起き・朝ごはんができている」と答えた児童は、低学年で約 71%、高学年で約 77%でした。また、保護者アンケートでは、「早寝・早起きをさせている」が約 63%、「子どもは毎日朝ごはんを食べている」が約 95%という結果でした。基本的な生活習慣は、子どもたちの心身の成長にとってはもちろん、学習に集中し、力を十分に発揮するためにも大変重要です。とくに「朝ごはん」については、多くのご家庭で意識して取り組んでいただき、心より感謝申し上げます。

一方で、高学年になるにつれて就寝時刻が遅くなる傾向が見られます。冬休み明けの生活点検では、スマホ・テレビ・ゲームなどの使用が2時間を超える児童が昨年度より増えており、中には寝室へタブレットやスマホを持ち込み、布団の中で動画を視聴しているケースもあるようです。このような生活が続くと睡眠の質が低下し、心の安定にも影響を及ぼすことが心配されます。

規則正しい生活習慣を確立することは、成長期の子どもたちにとって極めて重要であり、これからの長い人生を健康に過ごすための基礎にもなります。各ご家庭でさまざまな事情があることと思いますが、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣づくりに引き続きご協力いただければ幸いです。

本校がめざす子ども像である「やさしく思いやりのある子」「すすんで学習を進める子」「いきいき元気に健康な子」の実現に向け、家庭と学校が力を合わせながら、子どもたちがキラキラと“輝く”姿をたくさん見られるよう、今後ともご支援をよろしく願いいたします。

	アンケート項目	よく 出来ている	大体 出来ている	あまり 出来ていない	出来ていない
低学年	「はやね・はやおき・あさごはん」ができている。	36.7%	35.0%	25.0%	3.3%
高学年	「早寝・早起き・朝ごはん」ができている。	42.5%	35.2%	19.0%	3.2%
保護者	早寝(低学年9時・高学年10時)早起き(7時)をさせている。	19.8%	43.8%	28.9%	7.4%
	子どもは朝ごはんを毎日食べている。	86.0%	9.9%	3.3%	0.8%

令和7年度第2回学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。皆様からのご意見を受け止め、来年度の学校運営をはじめ日々の教育活動に生かしていきたいと考えています。

さらなる学校教育推進のために、ご支援ご協力よろしく願いいたします。

